

千葉市自治会館の利用実態からみた役割

日大生産工 (院) ○栗山 瑛子
日大生産工 広田 直行

1. はじめに

1.1 研究の背景と目的

約 30 年前に、都市化が進む千葉市において、自治会館の整備過程に関する調査研究*1 を行っている。1985 年当時、自治会は 799 自治会が存在し、自治会館は 262 館である。2013 年現在では高層住宅の増加や自治会館の共同所有を行っていた自治会の独立などにより、1051 自治会、690 館に増えている。その一方で、近年では少子高齢化や地域住民のコミュニティの希薄化などが問題となり、利用者の減少がみられる。

本来、地域住民の活動拠点である自治会館では様々な活動が企画されている。気軽に利用できる自治会館においての活動は地域住民のコミュニティ形成につながりやすい。そのため、既存の自治会館の利用実態から自治会館の役割を明確にする必要がある。

本研究では、自治会館の利用実態から現状分析を行い、自治会館の在り方について再検証を行う。本稿では、千葉市の自治会館に着目し、自治会館の現状と役割を示す。

1.2 調査対象事例

千葉市自治推進課に自治会が自治会館活動を行う場として申請されている千葉市 6 区の自治会館、690 事例の中から、無作為抽出法の多段抽出法*2 を用いて 120 事例を抽出する。調査協力の得られた 81 事例を対象とする。

本稿では、調査を終えた 49 事例について報告する。表 1 にその概要を示す。

1.3 研究方法

現地での利用実態調査、および施設管理者である自治会長に対し、アンケート調査を行う。

アンケート内容として「室構成」、「利用頻度」、「利用状況」を要点として作成する。

表 1 調査対象事例

事例	名称	建築年	建築面積(m ²)
1	稲毛台自治会館	1968	178.6
2	花見川分譲住宅南(北)集会所	1968	240.0
3	千草台児童センター	1970	138.6
4	こてはし台自治会館	1970	332.0
5	検見川5丁目自治会館	1970	96.5
6	塩田町会館	1970	99.8
7	鶴沢町自治会館	1971	260.0
8	登渡会館	1971	200.0
9	はまの台自治会館	1973	196.9
10	武石町1丁目町内会館	1974	50.0
11	花見川ライオンズプラザ内集会所	1974	50.0
12	長沼集会所	1977	168.0
13	長沼原台自治会館	1977	168.0
14	小中台中央自治会館	1979	243.2
15	千種町自治会館	1979	89.4
16	長作会館	1980	139.4
17	川戸町自治会集会所	1980	79.5
18	新田町会館	1981	154.1
19	清風台自治会館	1982	40.0
20	大森町向台自治会館	1982	100.8
21	南町共栄会館	1982	142.4
22	サンコー稲毛管理棟	1983	166.7
23	サンハイツ集会所	1983	50.7
24	大森地区自治育成会館	1984	100.2
25	稲毛スカイタウンコミュニティセンター	1985	542.8
26	第5稲毛ハイツ集会所	1986	30.0
27	穴川集会所	1987	100.0
28	横戸台集会所	1988	218.0
29	月の木会館	1988	49.6
30	園生県営住宅住宅集会所	1989	32.4
31	ヴィルフォーレ稲毛センターハウス	1990	1219.0
32	都町町内会集会所	1990	99.4
33	新町自治会館	1991	508.0
34	稲毛1・2丁目ハイマート自治会集会所	1993	99.4
35	小仲台新向会集会所	1994	149.1
36	宮野木あさま台自治会館	1994	66.2
37	宇那谷町内会館	1997	167.2
38	小仲台会館	1998	199.3
39	道端南協和会館	1998	220.7
40	長沼町京成団地自治会集会所	1999	43.1
41	東急長作町内会館	1999	148.2
42	檜橋町草原自治会館	1999	74.5
43	長作町貝塚町会館	2000	59.6
44	菱和団地集会所	2001	153.2
45	三和会館自治会館	2002	186.3
46	大森台自治会自治会館	2003	152.4
47	つどの家葛城町内会館	2005	145.9
48	三晃会館	2010	113.9
49	本町一丁目自治会館	2012	56.1

2. 利用実態

2.1 自治会館の室機能の分類

自治会館の室の抽出を行い、分類を行う。

自治会館における室は、[集会室]、[会議室]、[広間]、[和室]、[事務室]、[台所]の6つに分類できる。その概要を表2に示す。[台所]はほとんどの自治会館に設置されており、[台所]が設置されていないのは、1事例のみである。また[台所]は2階建ての場合、各階に設置されている傾向がみられるため設置が多い。[会議室]と[和室]は、2部屋以上設置している事例もあるため、設置が多い。

表2 自治会館の室機能

室機能の分類	分類の定義	事例数
集会室	20㎡以上の集会室	35
会議室	20㎡以下の洋室	17
広間	20㎡以上の和室	12
和室	20㎡以下の和室	15
事務室	自治会員が事務作業を行う室	16
台所	調理作業を行う室	46

2.2 自治会館の利用行為

アンケート調査より得られた、自治会館の利用行為の中で主に行われている行為を表3に示す。

表3より、[住民総会]、[役員会合]が、ほとんどの自治会館で行われている傾向がみられる。ともに少ない世帯や代表者を対象とした施設内での小規模な総会である。

[各部会会合]、[班長会会合]が、[住民総会]、[役員会合]より少ないのは、自治会によって部会の設置や、班長の設置があまりされていないことが理由にあげられる。また、[文化サークル]、[老人会の会合]の場合、老人会とサークル活動を併用して参加する場合があることがあげられる。

表3 自治会館の利用行為

利用行為	詳細	事例数	%
住民総会	自治会員が行う総会	45	92
役員会合	自治会長をはじめとした役員会議	47	96
各部会会合	消防団、美化など自治会員で構成された部会の会議	31	63
班長会会合	町内地区で決められた班長による会議	18	37
広報制作	自治会員の広報の作成	19	39
敬老会	75歳以上の高齢者を対象とする敬老会	26	53
餅つき	自治会員を対象としている餅つき	17	35
祭り準備	自治会員を対象としている祭りの企画から準備まで	28	57
盆踊り準備	自治会員を対象としている盆踊りの企画から準備まで	12	24
文化サークル	自治会員を中心としている書道、カラオケ、麻雀等のサークル	36	73
軽スポーツ活動	自治会員を中心としている卓球、輪投げ、ピンポン等のサークル	17	35
カラオケ	自治会員を中心として行われているカラオケ	27	55
老人会の会合	自治会員で構成されている老人会の会合	36	73
子ども会の会合	自治会員で構成されている子ども会の会合	15	31

2.3 自治会館の利用頻度

アンケート調査より得られた、自治会館の1ヵ月の利用頻度を図1に示す。

図1より、自治会館の利用頻度は49事例中15事例が10団体以上の利用が多い傾向がみられる。10団体以上の利用がある自治会館では、サークル活動が盛んであることや老人会の会合等、多く開催されていることが理由にあげられる。共同で自治会館を所有している自治会があることや、外部の会社会議、学習塾への貸し出しがあるため利用が多くなると考えられる。一方で1月に全く利用がない自治会館では、年に1回の住民総会のみで他の利用がないことがあげられる。1団体、2~3団体の利用の場合役員会合が多いことから、自治会館の必要性は低いと考える。

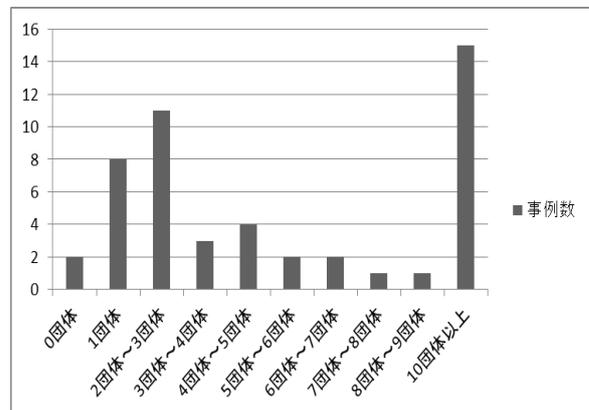


図1 自治会館の月の利用頻度

3. 室機能からみる利用行為

表3の利用行為が行われている場所を図2に示す。台所は、他の室利用の時の付随的な利用が多いため、分析から外す。

全体的に[集会室]の利用が多い。[集会室]では、大人数が収容できることや、サークル活動で広いスペースを必要とするため利用が多いと考えられる。

主に集会スペースとして利用されている[集会室]と[広間]の比較を行う。敬老会での利用の場合、[集会室]が[広間]より利用が多い傾向がある。[広間]は畳敷きのため、座る行為が高齢者の利用を少なくしていると考えられる。アンケート調査より、畳敷きの[広間]から、フローリングの[集会室]に改修を行った事例や改修を検討している事例もあげられる。

[事務室]における利用行為は広報制作のみの利用が多い。

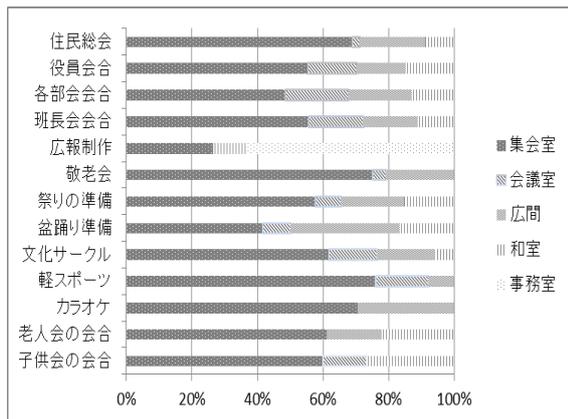


図2 利用行為が行われている場所

4.自治会館のコミュニティ形成と施設機能

藤 繁和氏による「町会館」のコミュニティ形成に関わる施設機能（その8）^{*3}より、コミュニティ形成におけるコミュニティ概念図と自治会館の施設機能の報告がされている。

図3にコミュニティ概念図^{*3}とコミュニティの成立における機能概要^{*3}を表4に示す。これをもとに自治会館の機能分類を行う。

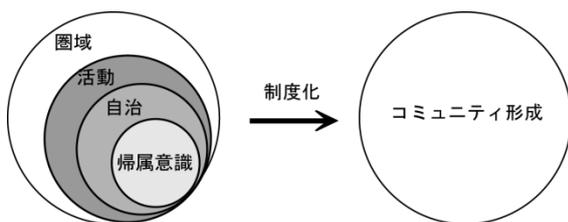


図3 コミュニティ概念図^{*3}

表4 機能概要^{*3}

機能	詳細
帰属意識	自治会に属する住民であるという意識に基づいた活動または自治会全体の参加を意識した活動
自治	地域の運営・管理活動もしくは地域住民の安全・衛生のための活動
地域活動	不特定住民の活動
圏域	自治会のエリアを意識した活動

4.1 自治会館の機能

[帰属意識], [自治], [地域活動], [圏域]をもとに自治会で行われている利用行為の分類を行う。今回の分析では屋内・屋外の利用行為を含める。アンケート調査より得られた利用行為の分類を表5に示す。

表5 利用行為の分類

分類	利用行為
帰属意識	餅つき・祭りの準備・盆踊り準備・町内清掃
自治	住民総会・役員会合・各部会会合・班長会合・防災活動・防災訓練
地域活動	敬老会・文化祭・軽スポーツ活動・カラオケ・老人会の会合・子ども会の会合
圏域	広報制作

自治会館の利用行為と分類の関係を図4に示す。[帰属意識]の利用行為を図5, [自治]の利用行為を図6, [地域活動]の利用行為を図7に示す。[圏域]は広報のみの為、分析から外す。

図4より千葉市の自治会館では主に[自治]の機能が低い傾向がある。表5より機能の分類の中でも利用行為が最も多いことがわかる。

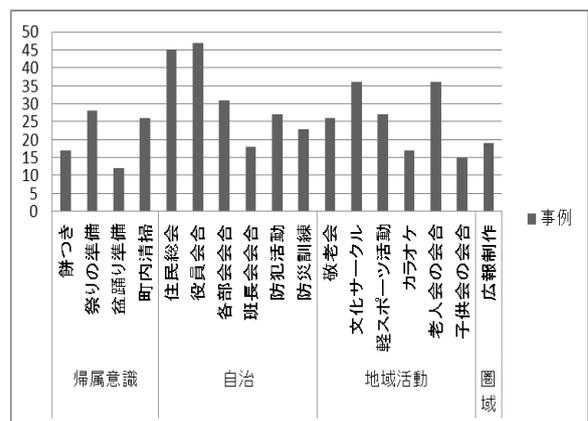


図4 施設機能と利用行為の関係

図5より[自治]の利用行為では住民総会が24%, 役員会合が25%と半数を占める。これは、自治会の運営が多いためである。防犯活動では、自治会役員を中心とした町内防犯パトロール等の取り組みや、防災訓練では3.11の震災を受けての避難訓練、自治会館の防災倉庫設置や避難所としての役割を検討していることもアンケート調査から得られる。これらのことが[自治]の機能が低い傾向の要因だと考えられる。

図6より[帰属意識]の利用行為は少なく、[帰属意識]の機能が低いことがわかる。アンケート調査より、餅つきは企画をしても参加者が少ないことや、自治会館の規模的問題で食事、調理が困難という意見もあげられる。盆踊りの準備も同様、参加者の不足や企画者側の高齢化による企画・準備の困難という事が、[帰属意識]の機能が低い要因として考えられる。

図7より[地域活動]の利用行為は文化サークル活動の23%, 軽スポーツ活動17%とサークル活動が多い傾向がある。これは、自治会員を中心として構成されるサークルの事例や自治会員と自治会員以外で構成されている事例が多いことが要因だと考えられる。またアンケート調査より外部に貸し出しを行うことで、1部の収入を施設の運営費にする事例もあげられる。

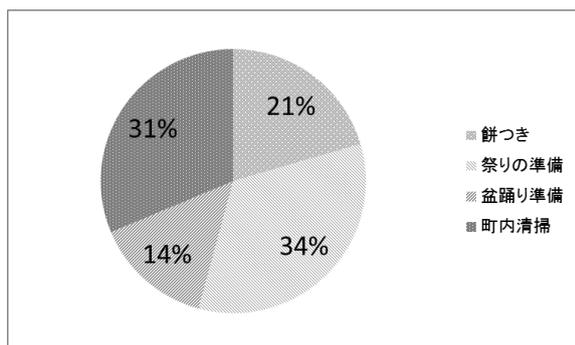


図5 [自治]の利用行為

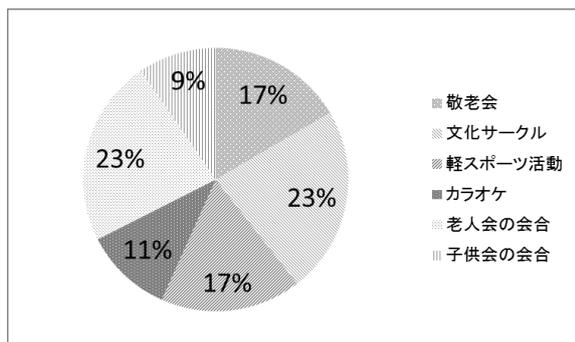


図6 [帰属意識]の利用行為

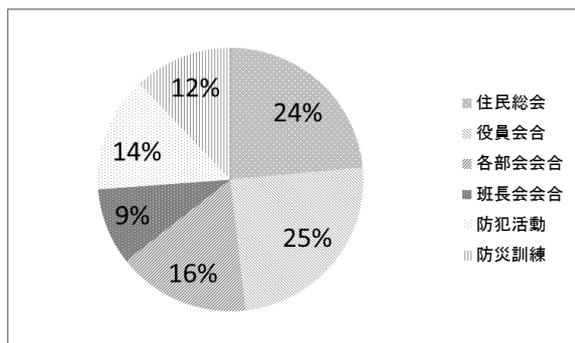


図7 [地域活動]の利用行為

4.2 コミュニティ形成に関わる利用行為

表5、図4よりコミュニティ形成に関わる利用行為の分析を行う。

[帰属意識]では祭り準備が多く、地域住民たちが参加する祭りがコミュニティの形成につながりやすいと考えられる。アンケート調査より、祭りの参加者は自治会員のみならず、自治会員以外とも交流が取れ、お互いに情報交換を行っているという意見もあげられる。

[自治]では、住民総会、役員会合と自治会を運営する利用行為が多い傾向にある。アンケート調査から自治会役員の交代は自治会によってもばらつきはあるが、1年交代もしくは3年交代である。住民総会の開催は年に1回という事例が多いことがあげられる。住民総会では、参加がない会員や毎回同じ人の参加が多く、交流を持つ

ことがなかなかないという意見が多くあげられる。

[地域活動]ではサークル活動が多い傾向にある。自治会員中心のサークル以外でも、自治会員と自治会員以外でサークルが構成されている事例もあることからコミュニティの形成は考えられるが、地縁コミュニティの希薄化が問題にあげられる。有効的なコミュニティ形成として自治会館の[帰属意識]の機能を高める必要があると考える。

5.まとめ

本稿で得られた利用実態からみた自治会館の役割を示す。

1)自治会館で最も多く行われているものは、[住民総会]、[役員会合]である。ともに少ない世帯や代表者を対象とした施設内での小規模な総会である。

2)サークル活動実態が少ない自治会館の利用頻度は低い。

3)利用行為には[住民総会]や[役員会合]等の集会が多く、大人数を収容できる室の利用が高い。一方で同規模でも畳敷きの室は高齢者の利用が少ない。

4)千葉市自治会館の利用実態より、地域自治への役割をになった利用が多く、コミュニティ形成に関わる活動の利用が少ない。

6.今後の課題

今後の課題として、規模と利用行為の関係性、また周辺環境や他施設利用について調査を行う必要がある。

【注釈】

*¹ 由良富夫/町内自治会集会所の整備過程に関する研究。1985年3月

*² 多段抽出法とは、対象事例母集団を幾つかのグループに分け、その中から対象事例を無作為に選択する方法。

*³ 藤繁和/「町会館」のコミュニティ形成に関わる施設機能(その8)、日本建築学会大会学術講演概要集 pp. 217-218, 2000年9月

【参考文献】

1) 由良富夫/町内自治会集会所の整備過程に関する研究。1985年3月

2) 藤繁和/「町会館」のコミュニティ形成に関わる施設機能(その8)、日本建築学会大会学術講演概要集 pp. 217-218, 2000年9月

3) 浅野平八/地域集会施設の計画と設計, 理工学 1995年7月